



## 堺市 第12回 与謝野晶子の碑



大阪・恵美須町から自動車のすき間を縫うように路面を走るチンチン電車（阪堺電気軌道阪堺線）。堺市に入り宿院駅に着く。宿院とは、寺社の宿坊があったことから名づけられたという。この駅の西北に、歌人の「与謝野晶子生家の跡・歌碑」がある（①甲斐町西1丁）。

海こひし 潮の遠鳴り かぞへつつ  
少女（をとめ）となりし 父母の家

1878年に和菓子商駿河屋に生まれた晶子は、文学者<sup>するがや</sup>与謝野鉄幹への思いを歌った「みだれ髪」で情熱の歌人といわれた。鉄幹と結婚し、東京で活躍するが、生まれ育った堺の街にも、望郷の思いがあったのだろう。

電車で沿って北上し、花田口駅を東に向かうと、晶子が通った堺女学校（現・府立泉陽高校）がある（②車之町東3丁）。その中庭には、「君死にたまふことなかれ」の詩碑がある。

あゝをとんとよ、君を泣く 君死にたまふことなかれ  
末に生まれし君なれば 親のなさはけはまさりしも  
親は刃（やいば）をにぎらせて 人を殺せとをしへしや

人を殺して死ぬよとて 二十四までをそだてしや（略）  
戦地に向かう弟に向かって、死なないで欲しいという気持ちを歌っている。この詩は弟への愛を詠んだものだが、晶子の作品には自分への愛、家族への愛があふれている。

泉陽高校を後に東に向かうと、JR阪和線堺市駅前の市立文化館に与謝野晶子文芸館（③）がある。ここでは、晶子の作品や人柄にふれることができる。

女性は家庭で夫に従い、子どもを生むことのみが役割とされ、それが社会の法律や制度であった時代。そして、国家が一丸となって戦争に臨んでいる時代。「婦人は男子にも国家にも寄りかかるべきではない」と、女性の自由と自立を主張した。この晶子の情熱の奥には、中世・自由都市・貿易都市として発展した堺のまちづくりの精神が流れている気がしてならない。



与謝野晶子生家の跡・歌碑

## 編集後記

■個人情報保護法が施行されて、個人情報に対する意識が向上したことは喜ばしいが、一方で個人情報の保護の行き過ぎた対応も気にかかることである。そういった対応について考えていただく、一助になればという思いで今回のテーマに取り組んだ。（T）

■私はどんなところに自分の個人情報を渡しているのだろうか？ と考えたとき、たくさんありすぎてとまどった。でも、「私の意志で決めた」こと以外で、私の情報が使われていくのはやっぱりいや。「情報の自己コントロール権」いま改めて考えたいと思った。（M）

## みんなのいいところ

阪南市 小学年生(当時) 新垣 大輔

みんなのいいところをさがそう。  
たいじゅくん、べんきょうをがんばるところ。  
れおくん、いつもそとであそぶげんきなところ。  
ゆうさくくん、むしをよくしつていておしえてくれるところ。  
たかさくくん、おにごっこをさせてくれるやさしいところ。  
わたるくん、はしりがはやいところ。  
そして、ぼくのいいところは、トランポリンとスイミングを  
がんばっているところ。  
みんなのいいところをさがしたら、みんながもつと  
すきになった。  
これからも、みんなのいいところをさがそう。

2005年度人権啓発詩 読書感想文募集事業  
（大阪府 大阪府教育委員会・愛ネット大阪・(財)大阪府人権協会 の入選作品より）

2006(平成18)年3月発行

この情報誌は20,000部作成し、1部あたりの単価は48円です。

発行／大阪府企画調整部人権室

編集／財団法人大阪府人権協会

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
TEL.06-6941-0351 FAX.06-6944-6616  
http://www.pref.osaka.jp/jinken/

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12  
TEL.06-6568-2983 FAX.06-6568-2985  
http://www.jinken-osaka.jp



R100  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

「そうぞう」とは

人権尊重社会を実現するためには、様々な偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」すること、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように一そんな思いが込められています。